

資料－４

河川情報センターからの情報提供



河川情報センターによる 河川・流域情報、危機管理に関する情報 の提供について





河川情報センター 事業概要

生活の安全・安心を確保するために必要な河川・流域情報を「川の防災情報」を通じて適確に提供するとともに、住民、防災関係機関等が必要な災害危機管理等の情報の提供に努めます。そのため、利用者の視点に立ち、以下の事業を実施します。

- 災害時の避難行動や緊急活動に不可欠な河川・流域情報の適確なリアルタイム提供
- 住民自らの適確な逃げ時の判断や防災関係機関が適確な災害対応・判断ができるような情報提供
- 災害時の判断・行動を住民自ら考えるマイ・タイムライン等の普及等
- 洪水予測システムの精度向上、雨量・河川水位・流量等の観測技術の高度化及び危機管理研修 等

1) 河川・流域情報提供事業

(1) 情報提供業務

- 河川情報の適確なリアルタイム提供と精度監視

川の防災情報/リアルタイム情報提供・精度監視/警報発表支援システムの構築・運用 等

(2) データ管理・利活用促進業務

水文観測技術の向上、デジタル水防ツールを活用した流域の水防災力向上

2) 危機管理・流域情報提供事業

(1) 危機管理業務

(2) 流域情報提供業務

- 水害ジブンゴト化に向けた多角的な取り組み マイ・タイムラインの全国展開
- 浸水センサを活用したリアルタイム浸水状況把握 等

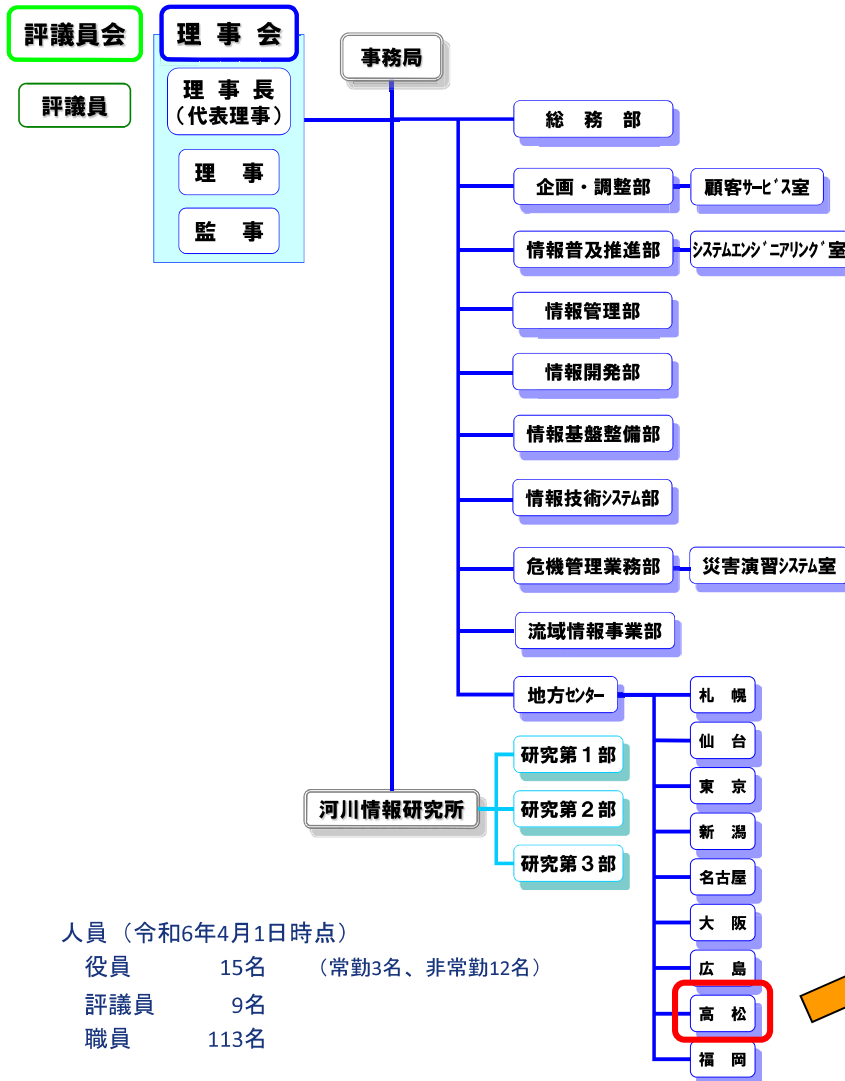
3) 河川・流域情報普及支援事業

- 研修及び普及・啓発事業: 災害危機管理研修 等



河川情報センター 概要

組織図



一般財団法人河川情報センター

FRICS : FOUNDATION OF RIVER & BASIN INTEGRATED COMMUNICATIONS, JAPAN

〒102-8474

東京都千代田区麹町1丁目3番地

(ニッセイ半蔵門ビル 2F(受付), 4F, 5F)

TEL 03-3239-8171(代) FAX 03-3239-2434

高松センター

〒760-0023

高松市寿町2丁目3番11号 高松丸田ビル9F

TEL 087-851-9911(代) FAX 087-851-9929



川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>

- 川の防災情報は全国の河川水位や降雨等のリアルタイム情報をインターネットを通じて一般住民等に常時提供。
- 令和5年6月、台風に刺激された梅雨前線により全国各地で豪雨となり、6月2日16時に過去最大の約317万PV/時のアクセスがあったが、対策効果を発揮し円滑に情報提供。

観測データ



河川情報提供システム

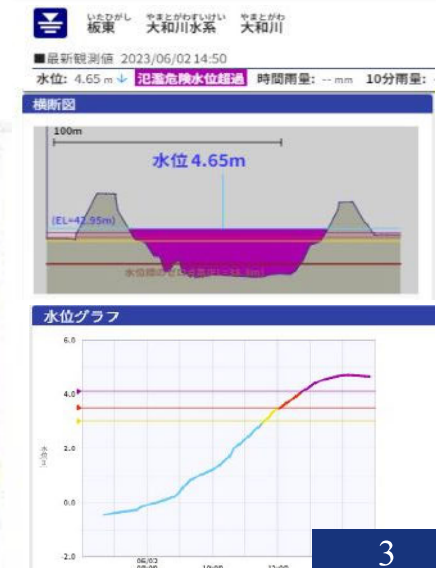
データ収集
全国の観測所から送られてくる観測データを収集

加工・編集
表やグラフ、地図、図面等に加工・編集

提供・蓄積
ユーザーに提供するとともに、データを蓄積

情報利用者

- ・住民
- ・市町村
- ・河川管理者
- ・報道関係者等





川の防災情報 対象ユーザーとシステム

河川管理者(国交省・都道府県職員)、**水防管理者(市町村職員等)**、**一般住民**、
それぞれのユーザーに対して、異なるシステムと役割で河川情報を提供する。

対象ユーザー	システム名	システムの持つ役割
水防管理者	市町村向け「川の防災情報」 ➢ID・PASSが必要。 (国・市町村他水防関係の希望した機関の河川管理者へ配布。) ➢インターネット回線にて閲覧可能。	➢水防管理者として必要な情報の収集と一般への避難勧告、避難指示を行うための支援 ➢一般向けに配信されていない項目のデータが配信されている。(排水機場・樋門、堰など)
一般住民	一般向け「川の防災情報」 ➢インターネット回線にて閲覧可能	➢住民の河川情報収集及び迅速な避難のための支援 ➢危機管理型水位計や簡易カメラの情報も同じ画面上で閲覧できる。



川の防災情報 各システムの情報提供項目

➤市町村向け川の防災情報・・・迅速的確な判断をするため、一般向けより詳細情報が閲覧できる。

(排水機場・樋門、堰諸量等)

➤一般向け川の防災情報・・・危機管理型水位計や簡易カメラの情報も同じ地図上で確認できる。

		Cバンドレーダ										Xバンドレーダ			テレメータ														予警報		気象情報													
		国交省				気象庁			統合プロダクト	流域平均・大流域	流域平均・小流域	国交省			雨量					積雪	水位			流量	水質	ダム諸量	堰諸量	排水機場諸量	海岸	気象	超過一覧	水防警報	洪水予報	ダム放流通知	水位周知河川情報	警報・注意報	天気図（実況・予想）	気象衛星画像	台風情報	地震情報（気象庁）	地震情報（国交省）	津波情報		
		現況	累加	履歴	予測（移動解析）	現況	予測	現況				履歴	予測※	河川局	道路局	気象庁	都道府県	他所管	流域平均		河川局	都道府県	危機管理型水位計																				実況	予測
固定端末版	市町村向け	○	△	○	○	△	○	○	△	△	○	○		○	○	○	○		△	△	○	□	○		○	□	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	一般向け （PC・スマートフォン）	○		○									○		○	○			○	○		○	○		○	○					○	○	○	○										

※固定端末の市町村向け口マーク(水位/河川局/予測)は、限定した市町村が予測水位を閲覧できることを表している

※固定端末の市町村向け△マークは、詳細メニューから閲覧できることを表している

※予測情報は国土交通省のみ配信

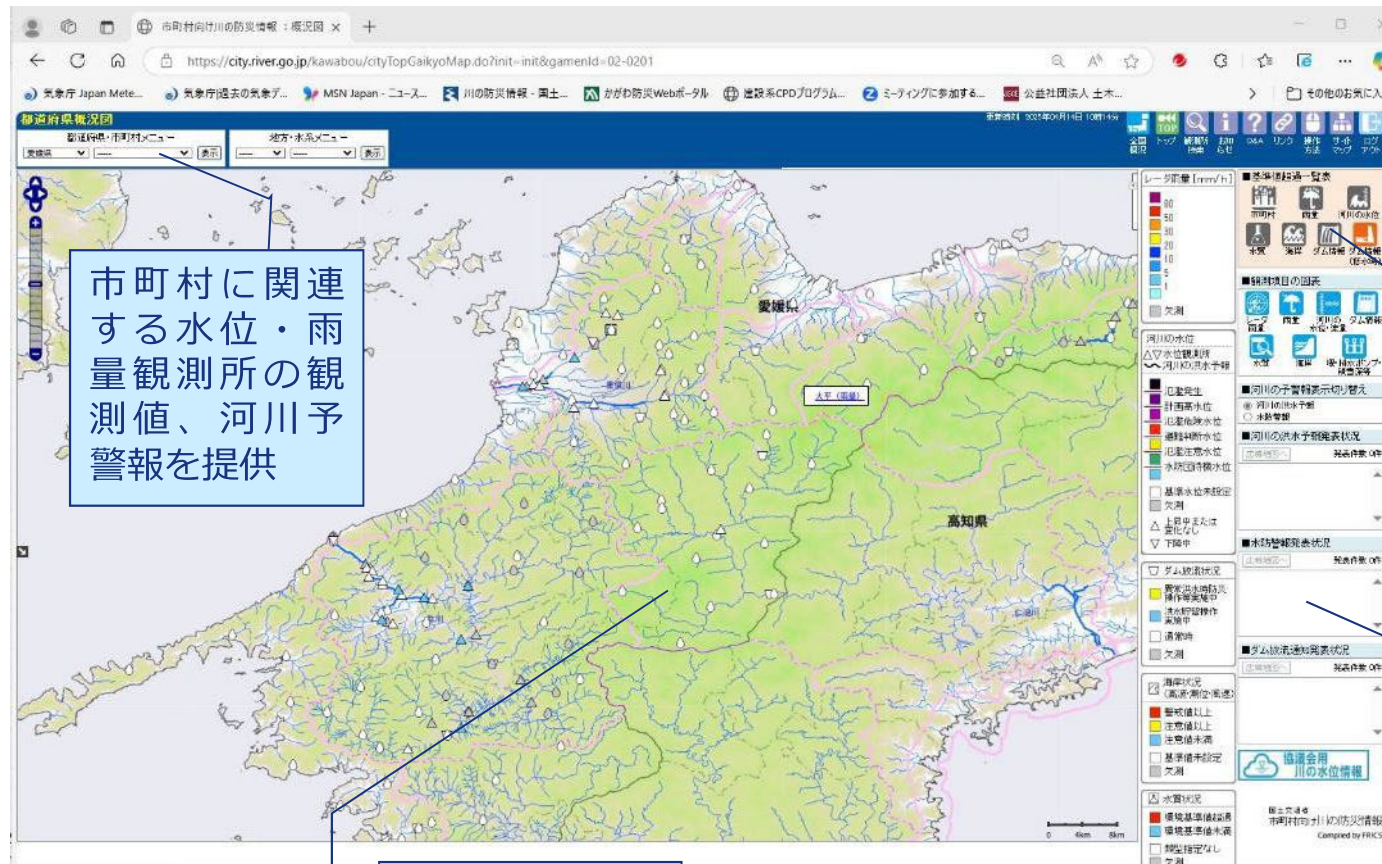
市町村向けシステムの主たるユーザー→市町村(水防管理者)及び都道府県

一般向けシステムの主たるユーザー→一般市民全般



I.市町村向け「川の防災情報」

市町村等の水防管理者に対し、水害の危険性について迅速・的確な判断を可能にするためのシステム



市町村に関連する水位・雨量観測所の観測値、河川予警報を提供

市町村の周辺の水位、レーダ雨量の概況を地図上に表示

- ・ 水防管理者として専用のトップページを提供
- ・ 必要な情報への迅速なアクセスが可能な画面遷移構造
- ・ 河川管理者と同等の情報を閲覧可能

「詳細メニュー」では、河川管理者と同等の情報を閲覧できる

現在発令されている河川予警報を一覧表示



Ⅱ.一般向け「川の防災情報(並べてみる)」

国土交通省 川の防災情報 "気象"×"水害・土砂災害" 情報マルチモニタ

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録 地点登録

新着情報

全国の状況 気象・土砂災害

洪水の危険性が高まっている河川

レーダー雨量 (XRAIN)

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報

河川カメラ

川の水位情報

強い降雨が観測されている雨量観測所

洪水予報、水位到達情報

ダム放流通知

洪水キキクル (危険度分布)

土砂キキクル (危険度分布)

水害リスクライン

避難情報

気象庁 気象警報・注意報

気象警報・注意報のほか、レーダー雨量(XRAIN)・河川カメラ等の情報を確認できる。

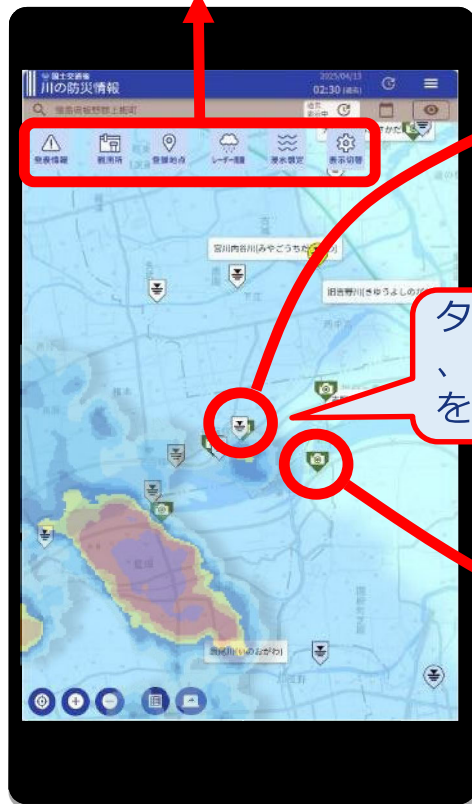
クリック

※「気象警報・注意報、土砂災害警戒情報」「洪水キキクル(危険度分布)」「土砂キキクル(危険度分布)」は気象庁ウェブサイト
※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページへリンクしています。
※「アラート」は、市町村等が発令した避難指示などの災害関連情報を、一般財団法人マルチメディア振興センターが収集、メディア掲載の情報は、無人観測所から送られてくるデータを観測後直ちに表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値などの水位情報、気象情報も併せて確認してください。



Ⅲ.川の防災情報(スマートフォンで表示)

発表情報: 洪水予警報・ダム放流情報
観測所: 見たい観測所を検索
登録地点: 登録した位置に画面移動
レーダー雨量: 雨域の移動履歴を確認
など



スマートフォン閲覧画面

タップすることで、
地図上の観測所
を閲覧可能。

1タッチで
上下流の観測所へ
画面移動可能。

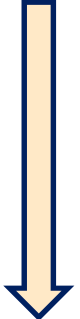




デジタル水防システムとは…

OLINEを活用し、ワンプッシュで当該地域の河川情報や避難情報を取得できたり、団員が撮影した写真や今いる現在地を水防マップに容易に登録できるシステム
○できるだけ、操作性が用意になるように配慮し設計

①水防活動時の情報共有に関する問題点

- 
- 参集・活動時の情報伝達手段に電話・無線を用いている団が多く、各種の情報共有に苦慮。
 - 水防活動に役立つ情報は、気象情報や洪水に関する情報、避難に関する情報など多岐に渡る。それらの情報を取得するためのウェブサイトが多すぎてわかりにくく、地域の情報を閲覧するのに手間がかかる。
 - 電話や無線などの音声だけでは現場状況が伝わらない。
 - 現場にいる団員の正確な居場所が分からない。

②問題点解決に向け、本システムのプロトタイプを（一財）河川情報センターが開発



③愛媛県大洲市・西予市・内子町、各市町の消防団、大洲河川国道事務所四国地方整備局とともに意見交換・操作体験を実施しながら改良し、「デジタル水防システム」が完成。



操作体験会の様子



デジタル水防システムの機能と画面。

デジタル水防の機能

- ① LINEの活用による**情報の一斉共有**
LINEのリッチメニューを活用することで、
各種情報の共有を団員全員で可能
- ② 洪水時に役立つ**情報をワンタッチで取得可能**
地域の河川水位や河川ライブカメラ情報、
気象情報、避難情報をワンプッシュで取得
- ③ 水防現場の**画像や動画をその場で地図上に登録し共有**
音声や位置情報が不明な写真等の不明
確な現場情報を地図上でやりとりし、団員
同志で共有
- ④ **団員の居場所やコメントを地図上で共有**
団員がどこに今いるのかを地図上で共有
することで、効率的な水防活動の実施と
団員の安否確認が可能

デジタル水防の画面





デジタル水防システムの便利機能。

●新着通知機能

- ・写真・動画・コメント投稿があれば、登録されてた団員全員に投稿内容を通知する機能

●水防マップ

- ・団員の現在地や投稿写真を地図に投影し、誰でも見れるマップ

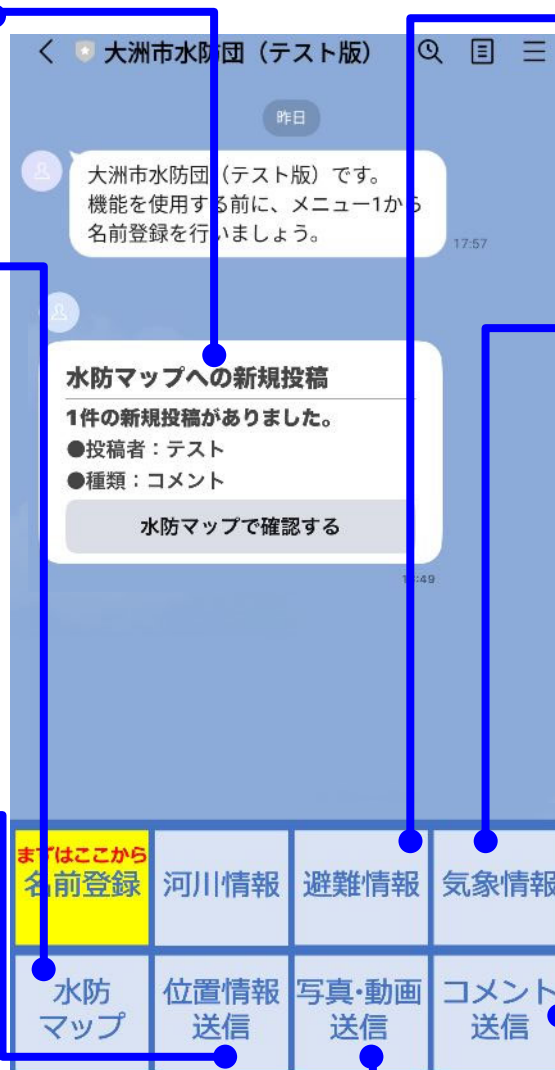


●位置情報送信

- ・団員の今いる場所を位置情報を付与して、「水防マップ」に投影する機能

●写真・動画送信

- ・団員が写真位置情報を付与して写真・動画を投稿できる機能



●避難情報

- ・ワンプッシュで発令中の避難情報や避難所開設情報が閲覧可能 (川の防災情報)



●気象情報

- ・地域の気象情報へ直接アクセス

気象情報

気象区分	詳細区分	小気象	大気象	気象情報 / 詳細	気象情報
気象区分	詳細区分	小気象	大気象	気象情報 / 詳細	気象情報
気象区分	詳細区分	小気象	大気象	気象情報 / 詳細	気象情報
気象区分	詳細区分	小気象	大気象	気象情報 / 詳細	気象情報
気象区分	詳細区分	小気象	大気象	気象情報 / 詳細	気象情報

●コメント送信

- ・写真・動画投稿に付与できるコメントを送信 (ボタンでの選択)

コメントを選択 (手順 4/4)

写真につけるコメントを選択してください。

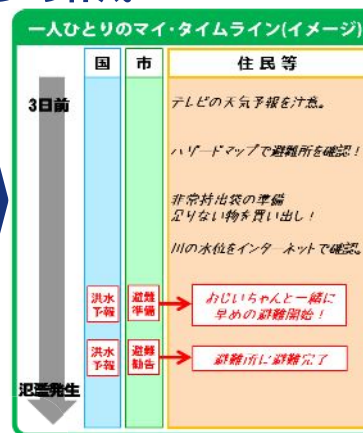
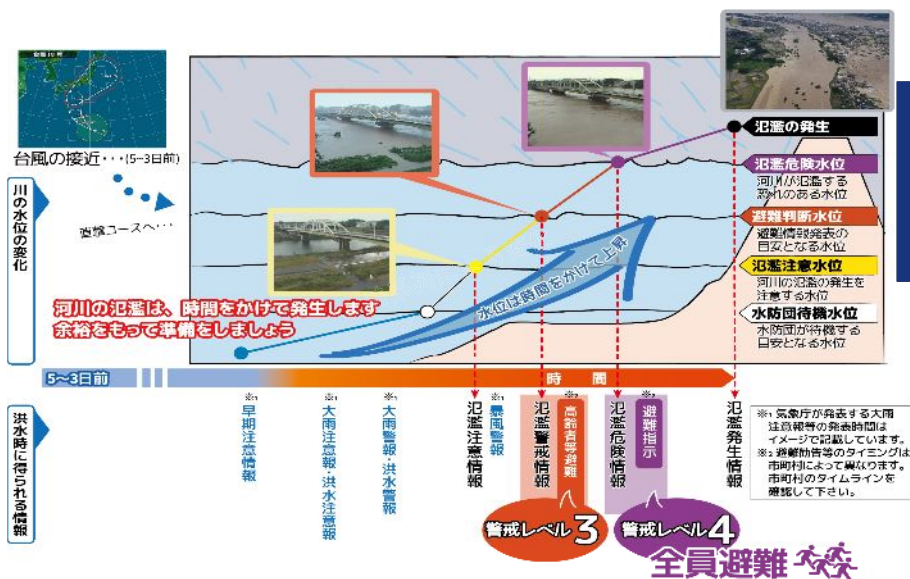
- 水位上昇中
- 浸水発生
- 土砂災害発生
- 通行不可能
- 水防活動中



マイ・タイムラインとは

台風の接近等によって、河川水位が上昇する時に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」・「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画

●河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



マイ・タイムラインの検討の過程で...

「リスクを認識」

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い 等

「逃げるタイミングがわかる」

- ・いつ逃げる?
- ・誰と逃げる?
- ・危険な場所をよけて

逃げるには

「コミュニケーションの輪が広がる」

- ・意見交換などで、知り合いになれる 等

マイ・タイムラインができると...

- ! 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ! 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

●作成の状況 ※避難の実効性を高める「住民自らが手を動かす取組」が重要



●参加者の主な意見等 ※各地で取り組まれている事例からの抜粋

- ・避難するために、どのような情報が必要で何を基準にして避難するかが少し理解できました。
- ・避難先に関する選定が難しく感じた。
- ・情報入手と早く行動することや家族と話し合い自助・共助・公助等、勉強になりました。
- ・個人での対応にも限界があり、地区での共助もあらかじめ決めることも大事。

マイ・タイムラインとは

マイ・タイムラインとは、
台風の接近等によって、河川水位が上昇する時に、
「いつ」・「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した
自分自身の防災行動計画

家族と自宅周辺の状況の整理

まず、前提条件として「自宅周辺の浸水リスク」、「家族の状況」、「想定される避難先」等を確認。

周辺の河川の状況の把握

次に、周辺の河川が氾濫するまでにどんな時間経過をたどるのかを再確認。

自らのとる防災行動を周辺状況と対比して整理

行政から発表される気象情報や避難情報、川の水
位等をもとに、自らがどのタイミングでどんな防
災行動をとるのかを整理。



マイ・タイムライン作成講習会 事例

徳島県鳴門市マイ・タイムライン講習会

対象地域: 徳島県鳴門市全域
主催: 国土交通省徳島河川国道事務所、鳴門市
実施日時: 令和7年2月7日(金) 13:30~16:00
実施場所: 鳴門市役所
講師: 流域治水アンバサダー、気象キャスター 服部由佳
参加者: 59名
主な対象河川: 吉野川・旧吉野川・新池川



講師: 服部 由佳



鳴門市HM

❖ 実施状況



マイ・タイムライン作成 講師



マイ・タイムライン作成 まとめ



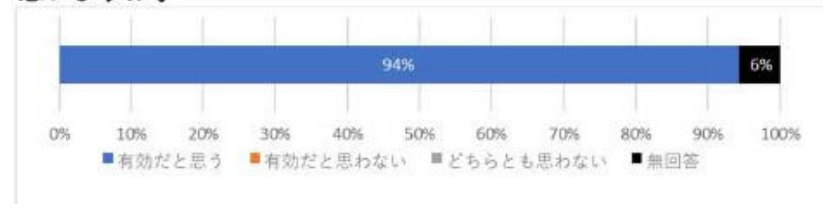
マイ・タイムライン作成 状況



マイ・タイムライン作成 サポート

【アンケート結果の概要】

Q.水害からの逃げ遅れゼロに向けて、マイ・タイムラインは有効だと思いますか。



94%が「マイ・タイムラインは有効だと思う」と回答いただいた。
(6%は「無回答」)

Q.水害リスク情報の空白域の解消について

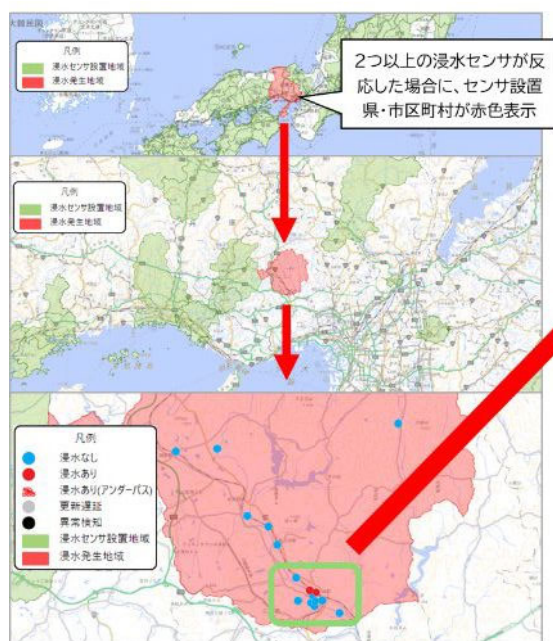
水害リスク情報の空白域の解消について、講習会では地理院地図（電子国土WEB）において「自分で作る色別標高図」や「断面図」を活用して白地（洪水ハザードマップで浸水なし）の見える化を説明した。

- ✓ 地図の見方が分かった。川東地区の白色の意味。
- ✓ 住んでいる地域は洪水の心配は少ないが、高潮におきかえて考えることが重要だと思った。
- ✓ ハザードマップで白い色の場所も危険であるということ。自分の住む地域の特徴をもっと知るべきだと思った。
- ✓ 令和8年に再度確認が必要
- ✓ 撫養町の最新ハザードマップが欲しい。（現状、白色の所）



浸水センサを活用したリアルタイム浸水状況把握

- ◆ 地気候変動の影響により水災害が激甚化・頻発化し、全国で大きな被害が発生。
- ◆ 域住民の生活・経済活動を守るため、市街地でのリアルタイムでの浸水状況を把握する必要性が高まっている。
- ◆ 浸水状況把握のために有用な浸水センサの設置促進のため、国土交通省は令和4年度より「ワンコイン浸水センサ実証実験」を実施。
- ◆ ワンコイン浸水センサ実証実験により、これまで約4,500基の浸水センサを設置。
- ◆ 浸水センサの情報の一部は、一般向けの表示システムでも確認可能(約2,000基)。



実証実験参加自治体: 埼玉県戸田市
(令和6年7月31日豪雨 浸水状況)



自動販売機連携型浸水センサ

自動販売機と離れた場所に設置された浸水センサを一体的に運用。自動販売機の収益を浸水センサの設置・維持管理に充てる。



自動販売機連携型浸水センサ

浸水センサの設置費用および運用費用は
飲料メーカーが負担
(自動販売機の収益を充てるため)

自販機詰め替え業者が定期的に
訪問・点検し、センサ破損・故障時は
飲料メーカーが対応

自動販売機設置に伴う**土地使用料等**は、
浸水センサの通信費用や自販機の売上等
に応じて**原則免除**

※「飲料メーカー」とは大塚ワテル・エム・エス・エー株式会社を指します。

◆ ワンコイン浸水センサ実証実験について

ワンコイン浸水センサ実証実験事務局
国土交通省 水管理・国土保全局
河川計画課 河川情報企画室
TEL: 03-5253-8446(内線35-394)
E-mail: hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp

◆ 自動販売機連携型浸水センサについて

一般財団法人 河川情報センター
企画・調整部
TEL: 03-3239-8447(内線: 152)
E-mail: ocs-info@river.or.jp

浸水センサの活用事例

浸水センサ活用事例①

◆ 仮設ポンプの設置や撤去のタイミング把握への活用

場所 秋田市 **降雨日時** 令和6年7月9日 2:00~16:00 (累計雨量73mm)

活用内容

市管理水路と河川の接続部に設置された浸水センサの信号を確認することにより、排水のための**仮設ポンプの設置や撤去のタイミングを現地に行くことなく把握**することができた。



浸水センサ活用事例③

◆ 民間企業(朝日航洋株式会社)の従業員出社停止判断への活用

場所 埼玉県川越市 **降雨日時** 令和6年8月29日 13:00~翌20:00 (累計雨量275mm)

活用内容

8月30日深夜に会社付近の道路で浸水センサの検知を確認し、翌早朝も冠水が続いていたため、当該企業へレポートへの**従業員の出社停止を判断**することができた。



浸水センサ活用事例②

◆ 下校時間調整への活用

場所 兵庫県朝来市 **降雨日時** 令和6年9月11日 14:20~15:10 (最大10分雨量18.5mm)

活用内容

9月11日14:50頃に浸水センサの検知を確認し、近隣の学校関係者に市からメール通知。生徒の安全を考慮し、近隣校において**下校時間を遅らせる判断**に活用。



浸水センサ活用事例④

◆ 道路の通行止め/解除の判断への活用

場所 福岡県大牟田市 **降雨日時** 令和7年8月10~11日

活用内容

市内複数の道路が冠水(最長箇所4時間以上)、通行止めを実施。センサの検知情報により**速やかに通行止めが実施**でき、**解除**についてもセンサ検知情報を参考にすることにより、**現地確認などのマンパワーを削減**できた。



2026年 災害危機管理研修のご案内

2日間の
集中講座

明日、起こるかも知れない大災害…

その時、あなたは適切な行動がとれますか？
河川氾濫を想定した情報の収集・判断・対処行動等、
実践的な訓練を行います！

研修風景



対象 地方公共団体や国の防災担当者等

開催期間 2026年11月上旬の2日間

研修場所 一般財団法人河川情報センター
(東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル)

募集人数 30名程度 ※先着順ですが、1機関あたりの参加者数を絞らせていただく場合があります。

研修参加費 20,000円 ※交通費、宿泊費、食費は含みません。
宿泊先は各自でご手配ください。
※研修参加費の納入方法等につきましては、受講申込後にご連絡します。

申込み 6月頃に河川情報センターHPで申し込みサイトを公開します

研修日程 ◇2日間で、①防災や災害対応についての講義、②ロールプレイング方式の図上訓練、③図上訓練結果を踏まえた討論を行います。

◇1日目は午後からスタート、2日目は18時頃解散の予定です。

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00			
11/○ 1日目	このスケジュールは予定であり 変更する場合があるのでご注意ください				受付	オリエンテーション	水防行政の基礎と最近の話題についての講義	休憩	① 避難情報の枠組みと防災行政における最近の動きについての講義	休憩	被災自治体の災害対応体験についての講義	休憩	図上訓練説明班編成 河川情報センター危機管理業務部
11/○ 2日目	事前説明 訓練準備		② 図上訓練（実技:4時間30分）					休憩	振り返り 講評		休憩	③ 災害時の想定行動についての討論	閉講式

FRIC 一般財団法人 河川情報センター

【お問合せ】危機管理業務部 担当：谷川、青木（お問合せのみ）

住所：〒102-8474 東京都千代田区麹町1丁目3番地（ニッセイ半蔵門ビル）

E-mail：kiki-kenshu@river.or.jp TEL：03-3239-8447

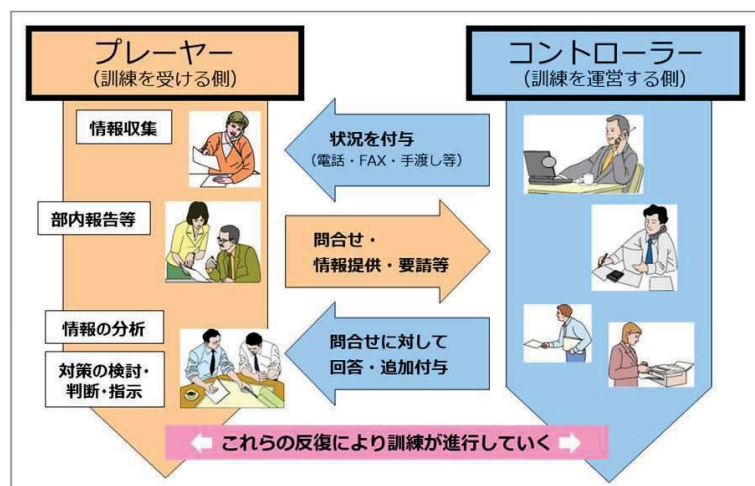
研修内容

■ 防災や災害対応についての講義

講義内容（予定）	講師（予定）
水防行政の最新の取組状況について	国土交通省 水管理・国土保全局
避難情報の枠組みと防災行政における最近の動き	内閣府（防災）
被災自治体の災害対応体験について	市町村の防災担当者

■ ロールプレイング方式の図上訓練

- ◇ ロールプレイング方式による災害危機管理訓練を実際に体験します。
- ◇ 想定シナリオは、洪水による被害が予想される自治体の災害対策本部の要員として、情報を収集・分析し、被害を予測し、住民に避難を呼びかける等の対応を実施する場面を予定しています。



【想定場面】

- ① 河川の増水による被害の予測分析
- ② 河川管理者との情報共有
- ③ 水防活動の実施
- ④ 住民に対する避難指示等の検討・発令
- ⑤ 避難指示等の広報周知、避難所の開設・運営
- ⑥ 要配慮者対応
- ⑦ 広報活動（特にマスコミへの対応）等

【訓練の特徴】

- ① 実際の災害時に近い状況の中で、自分自身の判断が求められます。
- ② 平常時とは大きく異なる、災害時の判断基準や優先順位を実践的に体験します。
- ③ 押し寄せる情報から、「今、何をなすべきか」を判断し実行することが必要となります。
- ④ シナリオはダイナミックに変化し、判断を誤ると状況は悪い方向に展開します。

■ 図上訓練結果を踏まえた討論

図上訓練を振り返り、災害対策本部の要員としてどのように行動すべきだったのか、これまでの経験・知識なども踏まえ、全員で討論・発表を行い、レベルアップを図ります。



● 当研修は公益社団法人土木学会認定CPDプログラムの認定を予定しています。

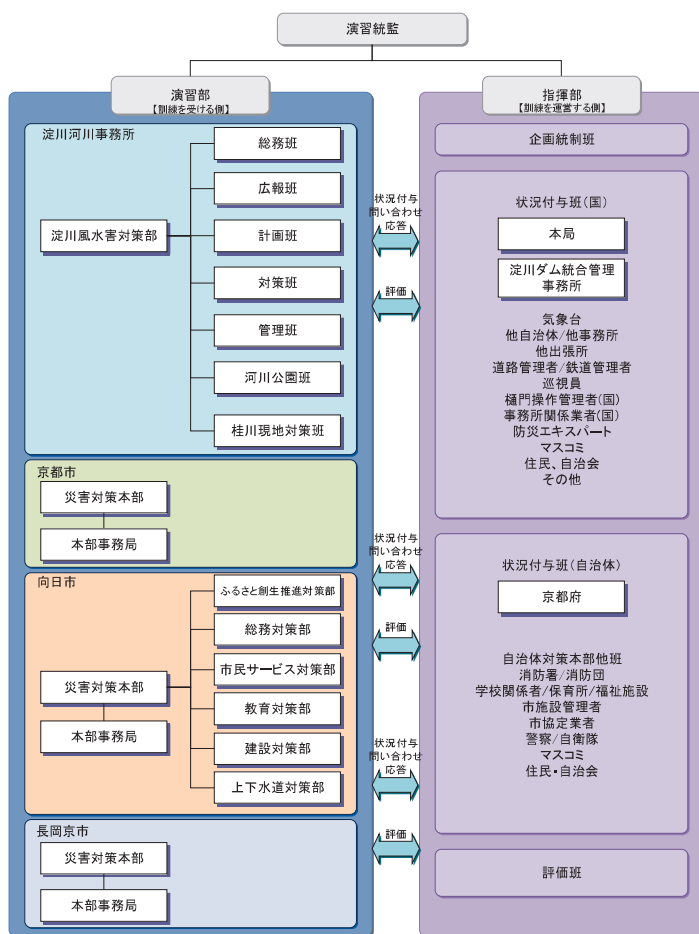


災害対応ロールプレイング演習支援

- ◆ ロールプレイング演習は、シナリオを演習参加者に開示しない、**ブラインド型の訓練**です。**災害を模した状況の中で、災害対応を行う**ことで、実践的な対応能力を向上させる図上訓練です。
- ◆ これまで多くの災害対応ロールプレイング演習や訓練の企画・運営支援を行ってきた経験とノウハウがあります。
- ◆ 過去の**災害時に行政官として防災対応に当たった経験を有する多くの職員を擁し**ており、実務を考慮した体制構築支援が可能です。
- ◆ 数班の小規模訓練から全部班総動員、あるいは河川管理者と自治体の合同訓練まで、**様々な規模に対して演習支援**します。

演習編成の例

※河川管理者と流域自治体の合同訓練の例



FRICSの演習実績

年度	業務名等	演習種別	参加機関
平成23年	淀川洪水対応演習支援業務	風水害図上演習	淀川河川事務所、木津川市
平成24年	淀川洪水対応演習支援業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、高槻市、枚方市
平成25年	馬淵川危機管理演習企画運営業務	風水害図上演習	青森河川国道事務所、八戸市
平成26年	淀川管内洪水対応演習支援業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、大山崎町、久御山町
平成26年	北上川上流災害対応演習運営支援	風水害図上演習	岩手河川国道事務所
平成27年	淀川河川事務所管内災害対応行動計画業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所
平成27年	岩木川危機管理演習運営補助業務	風水害図上演習	青森河川国道事務所、つがる市、鶴田町
平成27年	阿武隈川下流危機管理演習企画検討業務	風水害図上演習	仙台河川国道事務所
平成28年	淀川管内災害対応行動計画業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、城陽市、井手町、京都府
平成29年	淀川管内危機管理対応行動計画業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、大阪府、水防事務組合
平成31年	淀川管内危機管理支援業務	風水害図上演習	淀川河川事務所、京都市、向日市、長岡京市
令和02年	淀川管内危機管理支援業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所
令和02年	葛飾区水害図上訓練業務委託	風水害図上演習、職員研修(講義)	葛飾区役所
令和03年	葛飾区水害図上訓練業務委託	風水害図上演習、職員研修(講義)	葛飾区役所
令和04年	令和4年度葛飾区水害図上訓練業務委託	風水害図上演習、職員研修(講義)	葛飾区役所
令和05年	江東5区大規模水害広域避難体制構築支援業務委託	広域避難情報発令図上訓練	墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区他
令和05年	葛飾区水害図上訓練シナリオ等作成支援業務委託	風水害図上演習企画	葛飾区役所
令和06年	江東5区大規模水害広域避難体制構築支援業務委託	広域避難情報発令図上訓練	墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区他
令和07年	常総市洪水対応演習	風水害図上演習	常総市

※地震津波図上演習は事務所のみ参加

災害対応ロールプレイング演習支援

- ## 洪水対応演習シナリオの例



地震・津波演習シナリオの例

